一般質問

マイナ保険証の使用、本当に大丈夫？

危険木伐採作業

「現行の保険証」を残せ！
そういう方向でまとまればよいと思います

谷口（たにぐち） 眞治（しんじ） 議員

12月2日に現行保険証の新規発行を停止し、「マイナ保険証」への一本化が強行された。
①従来の健康保険証が使えないと誤解するなど混乱が起こっていないか。
②国に対して町民の不安にこたえる広報活動を求める必要はないのか。
③一番の解決策は、「マイナ保険証」と同様に、現行の「健康保険証」を残すことではないか。国に声をあげるべきではないか。

町長 ①現時点では、マイナ保険証の質問や問い合わせはありますが、従来の保険証が使えないなど誤解による混乱は確認していません。診療所や香住病院でも現在のところ、目立った混乱はありません。
②国としてもマスメディアでの周知を行っており、現状では、政府にさらなる広報活動を求めることは考えていません。
③様々な声があるようで、わたしが何も政府に言うことではなしに、地方6団体のひとつである町村会を含めそういう方向でまとまればよいという思いはしています。

環境保全型森林整備事業は
来年度も本事業を継続実施予定です

西谷（にしたに） 高弘（たかひろ） 議員

本年、環境保全型森林整備事業が5月から7月26日の要望期限で詳細は3事業、特に危険木の伐採については、区、自治会は整備事業に対して感謝の声もあった。今回の整備事業希望数、また地域、区内の河川にある自然木の対策は。

町長 集落の行う生活保全林、整備及び危険木伐採については、上限を100万円として補助対象事業費の100％補助金とした事業の取り組み概況は要望総数37件となり、全て現地確認の結果他の事業に振替て除いた25件を対象となり間伐事業2件、生活保全林整備4件、危険木伐採19件となり令和7年3月7日までの整備完了としますが、令和7年度も事業継続とします。
地域区内の河川にある自然木対策は区長、住民の皆さんから要望をいただければ、町で処理できるものは町で、県の管理する2級河川や矢田川は新温泉町土木事務所へつなぎます。